

事務連絡
令和6年10月21日

都道府県下水道担当課長 殿
政令指定都市下水道担当部長 殿
（上記、各地方整備局等経由）
市町村下水道担当部長・課長 殿
（上記、各都道府県経由）
日本下水道事業団事業調整課長 殿
都市再生機構下水道担当課長 殿

国土交通省水管理・国土保全局
下水道事業課事業マネジメント推進室課長補佐

下水道工事における安全対策の徹底（その2の2）について （令和6年9月12日兵庫県加古川市発注の工事に伴う死亡事故）

本年9月12日、兵庫県加古川市発注の開削工法による下水道管の新設工事において、土留め矢板がまばらに設置された状態で、深さ約3.1mの掘削穴の中で作業員が管布設作業を行っていたところ、背後の土砂(幅約0.3m、長さ約2.6m)が、矢板を設置していない箇所から崩落し作業員1名が全身生き埋めとなり、その後、救急搬送されましたが死亡するという事故が発生しました。

事故原因等を確認した結果、以下の点について安全対策の不備がありました。

- ・ 矢板の枚数が不足しているうえ、切梁・腹起しが設置されておらず適切な土留支保工がされていなかったこと。

事故原因等を受けまして、別紙のと通りの再発防止策を行うこととされました。

各下水道管理者におかれましては、引き続き工事現場へのパトロールを通じ、施工計画書等に基づく作業手順とおりの施工や安全管理の徹底を確認するとともに、当該再発防止策も参考として安全管理に対する指導を再度徹底することで受注者の安全意識の醸成を図り、事故の未然防止に努めていただくようお願いします。

【事故発生状況】

開削工法による下水道管の新設工事において、土留め矢板がまばらに設置された深さ約3.1mの掘削穴の中で管布設作業を行っていたところ、矢板背後の土砂（幅約0.3m、長さ約2.6m）が矢板を設置していない箇所から崩落し、作業員1名が全身生き埋めとなった。その後救助隊により救急搬送されたが、死亡が確認された。

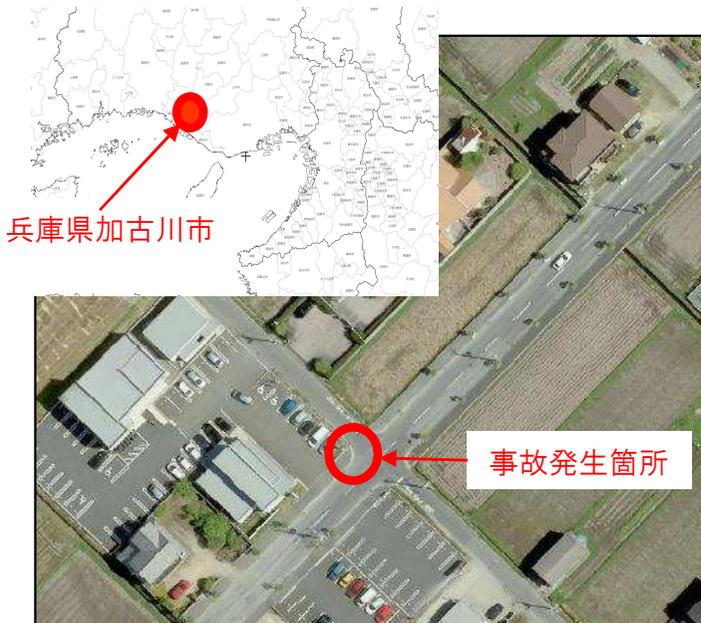
【事故発生原因】

・ 矢板の枚数が不足しているうえ、切梁・腹起しが設置されておらず適切な土留支保工がされていなかったこと。

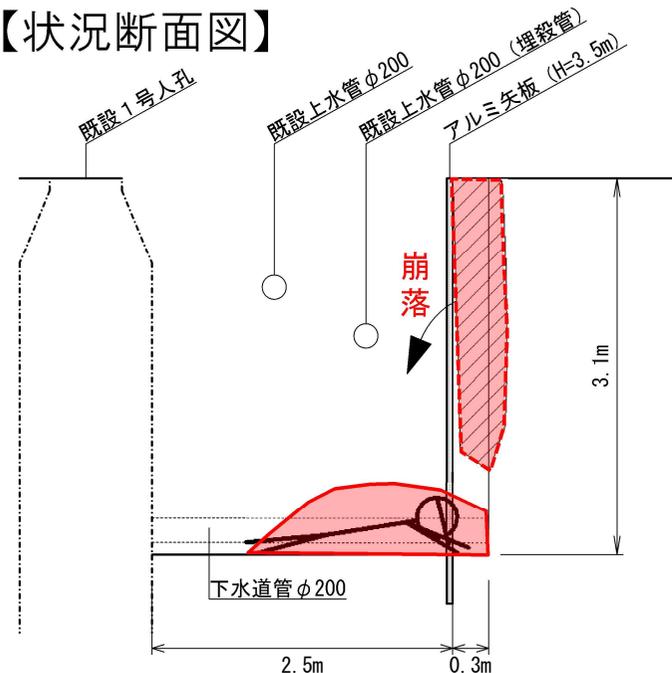
【再発防止策】

- ・ 地山の掘削作業主任者等が安全を確認のうえ、指示があるまで掘削穴に入らないよう作業手順を徹底する。
- ・ 安全責任者が常駐し、安全施工および周囲の安全状況の監視を行う。
- ・ 仮設計画のチェック体制を徹底する。
- ・ 発注者においては、掘削深さや土質条件等に伴う土留支保工の有無の確認を徹底するとともに、現場監理等で安全な施工を指導する。

【位置図】



【状況断面図】



【状況写真】

